

調 停 申 請 書

関係 当事者	労働者 氏 名 住 所	(〒 -) 電話 ()
	事業主 氏 名 又は名称 住 所	(〒 -) 電話 ()
調停を求め る事項 及びその理由		
紛争の経過		
その他参考となる事項		

年 月 日

申請者 氏名又は名称

長崎労働局長 殿

調停申請書記載要領

- (1) 調停の申請は、調停申請書に必要事項を記入の上、労働者に係る事業場の所在地を管轄する都道府県労働局長（雇用均等室経由）あて提出してください。

申請書の提出は原則として申請者本人が来局して行うことが望ましいものですが、郵送、電子申請等による提出でも受け付けます。

なお、申請書の提出が来局して行われなかった場合は、申請者本人に来局を求め、事実確認を行うことがあります。

- (2) 申請書に記載すべき内容及び注意事項は、次のとおりです。

①労働者の氏名、住所等

当該調停の申請に係る労働者の氏名、住所等を記載すること。

なお、複数の労働者が事業主の同一の措置について申請を行う場合は、1葉の申請書の本欄に連名で記載すれば足りるものであること。

②事業主の氏名、住所等

当該調停に係る紛争の関係当事者である労働者に係る事業場の名称、住所、代表者の職・氏名等を記載するものであり、必ずしも当該企業の本店、本社所在地とは限らないこと。

③調停を求める事項及びその理由

調停を求める事項については、紛争の解決のため希望する措置を、その理由については、紛争の原因となった事業主の措置（不作為を含む）の法違反であると争われている点を正確に記載すること（様式で足りない場合は別紙を添付することも可）。

なお、1人の労働者が事業主の複数の措置について申請を行う場合又、事業主が1人の労働者に対し複数の措置について申請を行う場合は、1葉の申請書の本欄に併記すれば足りるものであること。

④紛争の経過

紛争に関する措置の内容によって、下記の年月日、並びに他の関係当事者の見解及び企業内苦情処理機関等での取扱い状況等を詳しく記載すること（様式で足りない場合は別紙を添付することも可）。

- ・禁止規定に係る紛争については、当該紛争に係る事業主の措置が行われた日（継続する行為の場合は、当該行為が終了した日）
- ・セクシュアルハラスメントの措置義務に係る紛争のうち、指針3（3）イ及びロに関する紛争については、セクシュアルハラスメントが行われた日（継続する行為の場合は、当該行為が終了した日）
- ・セクシュアルハラスメントの措置義務に係る紛争のうち、指針3（4）イ及びロに関する紛争については、プライバシーが保護されなかった日又は不利益取扱いが行われた日（継続する行為の場合は、当該行為が終了した日）
- ・母性健康管理の措置義務に係る紛争については、女性労働者からの申出に対し事業主が必要な措置を講じなかった日

⑤その他参考となる事項

当該紛争について確定判決が出されているか否か、起訴手続き又は調停以外の裁判外紛争処理手続きが進行しているか否か、当該事業主の措置又はそれ以外の事由で集团的労使紛争が起こっているか否か、又、企業の雇用管理がこれまでどのように行われてきたか等の情報を記載すること。

⑥申請者の記名

双方申請の場合は双方の、一方申請の場合は一方の関係当事者の記名を行うこと。

記載例 1

調 停 申 請 書

関係当事者	労働者 氏名	○ 山 ○ 子
	住所	(〒 171 - 〇〇〇〇) 東京都豊島区〇-〇-〇 電話 (3502) 〇〇〇〇
	事業主 氏名 又は名称 住所	△ △ 株式会社 代表取締役 × 川 × 夫 (〒 166 - 〇〇〇〇) 東京都杉並区〇-〇-〇 電話 (3335) 〇〇〇〇
	調停を求める事項 及びその理由	妊娠の報告直後から、執拗な退職の強要を受け、退職せざるをえなくなった。会社は勤務状況の不良が理由と言うが納得できるものではなく、妊娠を理由とする解雇であると考えため、本来働き続けていれば得られたはずの期間の賃金補償を求める。
	紛争の経過	○月×日に妊娠したことを上司に伝えたところ、その直後の○月△日頃から、周りに迷惑をかけているため、自分から辞めるようにと何度も言われ、執拗な退職の強要を受けるようになった。 働き続けたい旨を何度も会社に話したが、聞き入れてもらえず、○月□日に解雇理由を「勤務状況の不良のため」とする通知書を渡された。 ※様式で足りない場合は別紙を添付することも可能です。
	その他参考となる事項	訴訟は提起しておらず、また、他の救済機関も利用していない。会社には労働組合があるが、本問題が労使交渉で取り上げられたことはない。

平成 ○年 ○月 ○日

申請者 氏名又は名称 ○ 山 ○ 子

〇〇労働局長 殿

記載例 2

調 停 申 請 書

関係 当事者	労働者 氏 名	○ 田 ○ 子
	住 所	(〒 130 - 〇〇〇〇) 東京都墨田区〇-〇-〇 電話 (3633) 〇〇〇〇
関係 当事者	事業主 氏 名 又は名称	△ △ 株式会社 代表取締役 × 橋 × 朗
	住 所	(〒 141 - 〇〇〇〇) 東京都品川区〇-〇 電話 (3490) 〇〇〇〇
調停を 求める事項 及びその理由	上司からのセクシュアルハラスメントについて、会社に相談したものの、対応が不十分だったために、仕事を続けられなくなり、辞めざるをえなかったため、会社に対し精神的ダメージを受けた慰謝料を求める。	
紛争の 経過	上司からの執拗な食事等の誘いを拒否したところ、〇月△日頃から無視されたり、仕事をミスするようにし向ける等の嫌がらせをされるようになり、〇月×日に精神的に仕事を続けられなくなり退職した。 会社に〇月〇日以降、再三に渡り人事部長に相談したが、十分対応はしたと言われ、とりあってもらえなかった。 ※様式で足りない場合は別紙を添付することも可能です。	
その他参考となる 事項	訴訟は提起しておらず、また、他の救済機関も利用していない。会社には労働組合があるが、本問題が労使交渉で取り上げられたことはない。	

平成 ○年 ○月 ○日

申請者 氏名又は名称 ○ 田 ○ 子

〇〇労働局長 殿